

I 調査結果の概要

1 米生産費

(1) 平成20年産米の10 a 当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は14万6,754円で、前年に比べ4.8%増加し、60kg 当たり全算入生産費は1万6,497円で、前年に比べ0.5%増加した。

(2) 10 a 当たり全算入生産費が増加したのは、物財費が増加したことによる。

(3) 物財費は、原油価格の上昇に伴い肥料費及び光熱動力費が増加したこと等により、前年に比べ13.7%増加した。

(4) 労働費は、収穫時期等の天候が良好で、ほ場状態が良かったこと等から、刈取・脱穀時間が減少したこと等により、前年に比べ4.6%減少した。

図1 主要費目の構成割合（10 a 当たり）

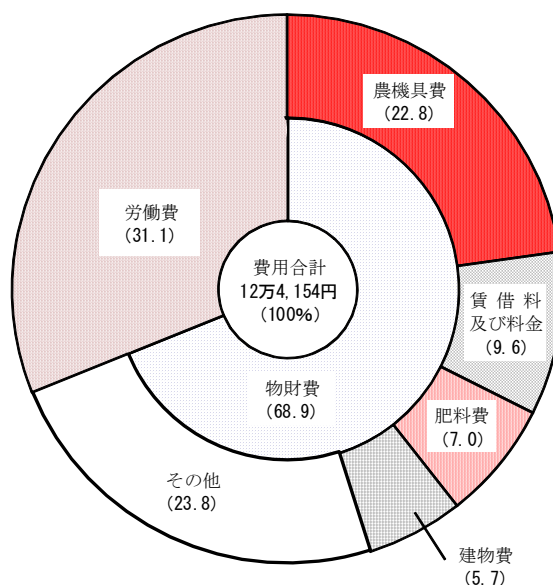


表1 米の生産費

区分	単位	平成20年産		平成19年産	対前年 増減率
		実数	構成比	実数	
			%		%
10 a 当り	物財費	85,500	68.9	75,183	13.7
	うち農機具	28,309	22.8	22,045	28.4
	賃借料及び料金	11,921	9.6	12,667	△ 5.9
	肥料費	8,738	7.0	8,034	8.8
	建物費	7,036	5.7	4,363	61.3
	光熱動力費	4,827	3.9	3,968	21.6
	労働費	38,654	31.1	40,538	△ 4.6
	費用合計	124,154	100.0	115,721	7.3
	生産費（副産物価額差引）	120,934	-	113,358	6.7
	支払利子・地代算入生産費	125,965	-	118,345	6.4
	全算入生産費	146,754	-	140,030	4.8
	60 kg 当たり全算入生産費	16,497	-	16,412	0.5
	10 a 当たり収量	533	-	511	4.3
	10 a 当たり投下労働時間	27.25	-	28.49	△ 4.4
	1 経営体（戸）当たり作付面積	128.9	-	122.8	5.0

注：表中の「1 経営体（戸）当たり作付面積」の調査対象の単位については、平成19年産は「農家」、平成20年産からは「経営体」としたことから、平成19年産は、「1 戸当たり作付面積」であり、平成20年産は「1 経営体当たり作付面積」である。

2 小麦生産費（個別経営）

(1) 平成20年産小麦の10 a 当たり全算入生産費は6万1,362円で、前年に比べ2.2%増加し、60kg 当たり全算入生産費は8,054円で、前年に比べ7.0%増加した。

(2) 10 a 当たり全算入生産費が増加したのは、労働費は減少したものの、物財費が増加したことによる。

(3) 物財費は、収量の減少に伴い賃借料及び料金は減少したものの、原油価格の上昇に伴い肥料費及び光熱動力費が増加したこと等により、前年に比べ5.8%増加した。

(4) 労働費は、刈取・脱穀等の労働時間が減少したこと、前年に比べ病害虫の発生が少なかったことから防除労働時間が減少したこと等により、前年に比べ5.3%減少した。

図2 主要費目の構成割合（10 a 当たり）

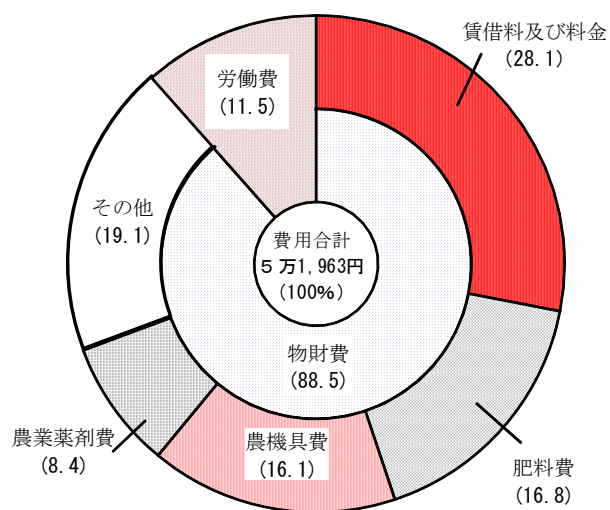


表2 小麦の生産費

区分	単位	平成20年産		平成19年産	対前年
		実数	構成比	実数	増減率
			%		%
10 a 当り	円	45 976	88.5	43 467	5.8
	〃	14 578	28.1	15 121	△ 3.6
	〃	8 736	16.8	7 608	14.8
	〃	8 376	16.1	6 768	23.8
	〃	4 339	8.4	4 606	△ 5.8
	〃	2 193	4.2	1 830	19.8
	〃	5 987	11.5	6 320	△ 5.3
	〃	51 963	100.0	49 787	4.4
	〃	49 180	-	47 726	3.0
	〃	52 701	-	51 382	2.6
	〃	61 362	-	60 053	2.2
60 kg 当たり全算入生産費	〃	8 054	-	7 529	7.0
10 a 当たり収量	kg	457	-	478	△ 4.4
10 a 当たり投下労働時間	時間	3.86	-	4.10	△ 5.9
1 戸 当たり 作付面積	a	672.8	-	646.8	4.0